

すてっぴ



(隔月発行)

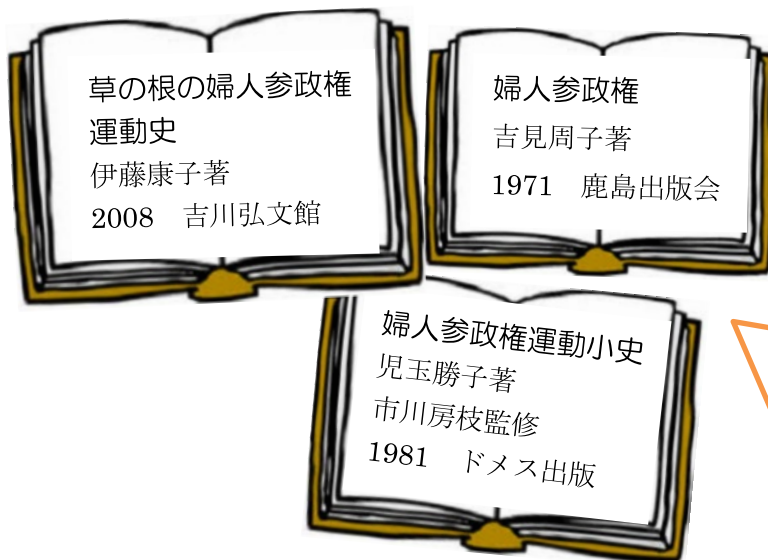


女性参政権の歴史を、ふいかえる

女性（婦人）参政権とは、女性が政治に参加する権利のことで、日本では昭和20年（1945年）、新選挙法により女性が初めて参政権を獲得しました。翌年の衆議院議員総選挙では、39名の女性議員が誕生したのです。

それから80年、女性の総理大臣が誕生しました。

女性たちがどのようにして参政権を獲得したのか、権利を求めてたたかい続けた先人たちの足跡を、本でたどってみませんか。



明治維新後、日本は先進諸外国に追いつくために急速な改革を行い、5人の少女を米国に留学させました。当時、米国や英国は婦人参政権を獲得していましたが、日本では選挙権も被選挙権も男子に限定され、女性が政治に参加するには程遠い道のりでした。

その中で多くの女性が「婦人参政権運動」に立ち上がります。市川房枝、久布白落実、ガントレット恒子、河崎なつ、平塚らいてうー彼女たちの足跡が紹介されています。長いたたかひの歴史を、ぜひ読んでみませんか。

女性の人権や解放を求めて、社会の慣習とたたかった昔の女性たちは、熱い思いを込めて様々な雑誌を創刊しました。図書・資料室では、当時の雑誌の復刻版を所蔵しています。

(※復刻版は閲覧のみで、貸出はできません)



青踏

明治44年(1911年)に平塚らいてう等が創刊した、女性による日本最初の文芸誌



女人芸術

昭和3年(1928年)から48冊を刊行した長谷川時雨創刊の女性文芸誌



新着図書紹介



カウンセラーの選びかた

ネヴィル・シモン著

晶文社 2025



今日本では、どれだけの人がカウンセリングを受けているだろうか。本書は、カウンセリングを利用するユーザーに向けて書かれている。どのようなカウンセラーは良くて、どのようなカウンセラーは悪いのか、の基準を明示。話を聞いて、ユーザーを気分良くさせるだけでは良いカウンセラーではないという。なかなかの激辛の本、だそうだ。



-196℃の願い

松岡かすみ著

朝日新聞出版 2025

-196℃とは、生殖医療で凍結保存をするときの温度だ。ここ数年で急速な広がりを見せているのが「卵子凍結」である。生き方や価値観が多様化し、晩婚化、晩産化が進む中で「子どもがほしい」となった時のために採取した時点での卵子を凍結しておくのだ。

卵子凍結を選んだ9人の女性たち。子どもを産んだ人、凍結卵子を廃棄した人、様々な人生の選択がある。

多聞さんのおかしなともだち

トイ・ヨウ著

KADOKAWA 2025



母とその彼女に育てられた高校生内日（ウツイ）。女の人が好きで女の人、男の人が好きな男の人、どっちのことも好きな人、いろいろな大人が周りにいたけれど、内日は人に恋愛感情を持つことができない。多様な愛の姿を知る子どもだからこそ、誰かを愛する感覚がわからないことに葛藤する物語。漫画。



渴愛 頂き女子りりちゃん

宇都宮直子著

小学館 2025

年上の男性から金銭を搾取することを「頂き」と名付け、3人の男性から約1億5千万円をだましとった事件で逮捕された「りりちゃん」は、そのほとんどをホストにつぎこんだという。刑が確定し、親族以外の面会ができなくなるまで二十数回にわたり「りりちゃん」と面会した著者が、事件について取材をまとめた。本作は、第31回小学館ノンフィクション大賞を受賞。著者はいう。「詐欺はわるいことだとわかったというが、自分の行為が被害者の生活を一変させたことへの反省はきけなかった。」

卒母のためにやってみた50のこと

田中千絵著

大和書房 2024



この本では、「過剰な母という役割を終えて家族の自立、自律を目指す」ことを「卒母（そつはは）」と定義。

子育てに少し余裕ができ、ふと自分を振り返る時間ができ、体力も少しずつなくなってきたと思うそんな時が来ている母たちに、心理学を学んだ著者自身が卒母のために見直した50のアイデアを共有。家族のためにやり過ぎてしまう生活から、よい距離間をとりながら自分を大事にすることへシフトすることの大切さに気付かせてくれる。やわらかい手書きの絵と文が親しみやすい一冊。

書 名	著者名	発 行
水中の哲学者たち	永井玲衣	晶文社
カウンセリングとは何か	東畑開人	講談社
昭和１００年の１００人 女性篇		文藝春秋
装いの翼	行司千絵	岩波書店
戦前エキセントリックウーマン列伝	平山亜佐子	左右社
八雲の妻	長谷川洋二	潮出版社
「いきり」の構造	武田砂鉄	朝日新聞出版
教育にひそむジェンダー	中野円佳	筑摩書房
北京行動綱領から３０年	昭和女子大学女性文化研究所	御茶の水書房
名著でひらく男性学	杉田俊介 [ほか]	集英社
SISTER” FOOT” EMPATHY	ブレイディみかこ	集英社
Z家族	博報堂生活総合研究所	光文社
家族になろうね	奥田哲平	中日新聞社
葬儀から壊れていく家族	橘さつき	さくら舎
季刊セクシュアリティ (No. 122)		エイデル研究所
ストーカー 改訂	長谷川京子、山脇絵里子	日本加除出版
介護未満の父に起きたこと	ジェーン・スー	新潮社
学校の「男性性」を問う	大江未知 [ほか]	旬報社
産む自由／産まない自由	塚原久美	集英社
人生、山あり“時々”谷あり	田部井淳子	潮出版社
爆弾犯の娘	梶原阿貴	ブックマン社
踊り場に立ち尽くす君と日比谷で陽に焼かれる君	金原ひとみ	朝日新聞出版
トットあした	黒柳徹子	新潮社
５０歳の棚卸し	住吉美紀	講談社
涙の箱	ハン・ガン	評論社
さあ目をとじて、かわいい子	サリー・ニコルズ	偕成社
ババヤガの夜	王谷晶	河出書房新社
絶縁病棟	垣谷美雨	小学館
デモクラシーのいろは	森絵都	KADOKAWA

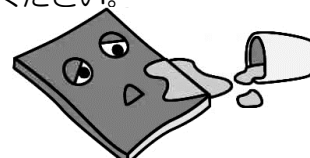


こちらから、蔵書目録や
新着図書一覧がご覧いただけ
ます。
どうぞご利用ください。

図書室からのお願い

- 本の返却期限をお守りください。
- 汚損された本が増えています。
本を大切に扱ってください。

泣いています！



今読まれているのは
こんな本！



生きる言葉 俵万智 新潮社

相談するってむずかしい 青山ゆみこ、細川貂々 集英社

トットあした 黒柳徹子 新潮社

介護未満の父に起きたこと ジェーン・スー 新潮社

地方女子たちの選択 上野千鶴子、山内マリコ 桂書房

歌舞伎町に沼る若者たち 佐々木チワワ PHP 研究所

青い壺 有吉佐和子 文藝春秋

謎の香りはパン屋から 土屋うさぎ 宝島社

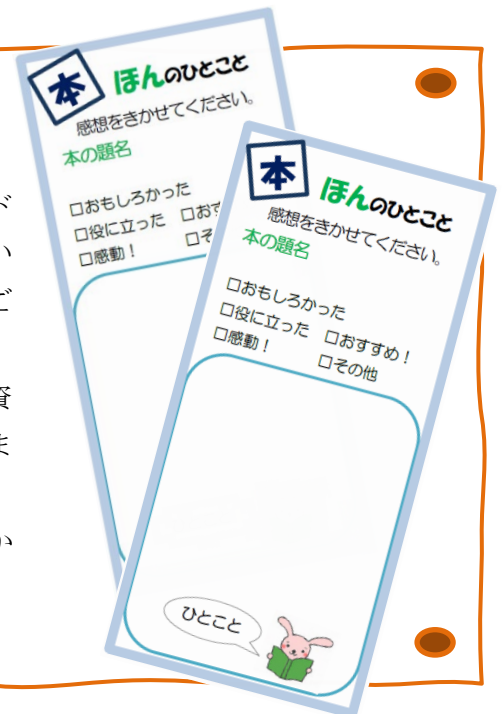


「ほんのひとこと」カードをご存知ですか？

図書・資料室では、本を借りた方に「ほんのひとこと」カードをお渡ししています。本を読んで感じたことを、誰かに話したいと思ったことはありませんか。そんな時は、ぜひこのカードをご活用ください。無記名で記入できます。

皆さまからいただいた「ほんのひとこと」カードは、図書・資料室内に掲示しています。1月には、貼り替えを予定しています。

よろしければ、本を読んだ後のあなたの「ひとこと」、お聞かせください。



図書室利用案内

はじめて本を借りる方は、名前や住所を確認できるもの(運転免許証等)をお持ちの上、利用登録のお手続きをお願いいたします。

貸出冊数 6冊
貸出期間 4週間
利用時間 午前9時～午後9時30分まで
休館日 年末年始(12月29日～1月3日)、施設メンテナンスの日

練馬区立男女共同参画センターえーる 図書・資料室

〒177-0041 練馬区石神井町 8-1-10

☎ 03 (3996) 9099 (直通)

<https://www.city.nerima.tokyo.jp/kusei/keihatsu/jinkendanjo/sankakucenter/index.html>

